

電波時計 取扱説明書 (AC電源デジタル目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1707)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 次のことを守らないと、火災や感電により死亡や大けがなど人身事故の原因になります

禁止 めれた手でふれない
感電や故障の原因になります。

禁止 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になるところでは使わない
感電や故障の原因になります。

禁止 ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

禁止 AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

必ず守る 本体やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く
そのままにすると、感電や火災の原因になります。

必ず守る ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほごりを定期的にとる
ほごりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。

必ず守る AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたをしない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

禁止 雷が鳴り出したら、本機やAC電源アダプターにふれない
感電の原因になります。

分解禁止 分解や改造をしない
火災や感電、故障の原因になります。

禁止 AC電源アダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止 故障や破損した状態で使わない
けがや火災、感電などの原因になります。

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

禁止 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱により故障やけがの原因になります。

禁止 使用中のAC電源アダプターに長時間ふれない
低温やけどの原因となります。

必ず守る 長期間使用しないときは、電池とAC電源アダプターを取り外す
安全のためAC電源アダプターや電池を取り外してください。

必ず守る AC電源アダプターのケーブルを引っ張らない
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC電源アダプター本体を持ってください。

禁止 下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほごりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃	表示方式	セグメントLED
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	時刻	AM/PM 12時間表示
時計電源	入力定格: DC 6V 400mA	日付	月、日 (2009年~2059年)
AC電源アダプター	入力定格: AC 100V 50/60Hz 出力定格: DC 6V 400mA 消費電力: 約6W	明るさ	2段階切り替え
停電補償	電源: リチウム電池 CR2032 1個 停電補償時間: 約1000時間	表示	時刻、日付切り替え式
標準電波	福島局/九州局自動選択 受信回数 1日8回 受信時刻 1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に受信を開始 電波受信機能ON/OFF切り替え	アラーム	アラーム精度: 表示時刻に対して±0秒 アラーム音: 電子音(鳴り方が変化) スヌーズ機能: 約5分間アラーム音停止 スヌーズ回数は7回まで
		オートストップ	約2分で自動停止
		モニターランプ	: 約2分間アラーム音を鳴らす : アラームスイッチONで点灯

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
リチウム電池(内蔵) 1個 AC電源アダプター 1個
取扱説明書 本書 保証書 1枚

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 8RZ000

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。
当社は CITIZEN ブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

- 電池の⊕⊖を逆に入れてください。
- 幼児の手の届かないところに置いてください。

電池の種類について

●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。

■ 停電補償用電池の交換について

次のようなときは、停電補償用電池を交換してください。

- ①AC電源がないと表示が消えて止まる。
- ②目安として電池の使用推奨期限を超えたとき。市販の電池はパッケージに使用推奨期限を表示。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

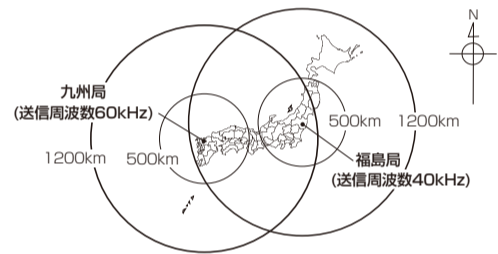
- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**リセットボタン**を押してください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



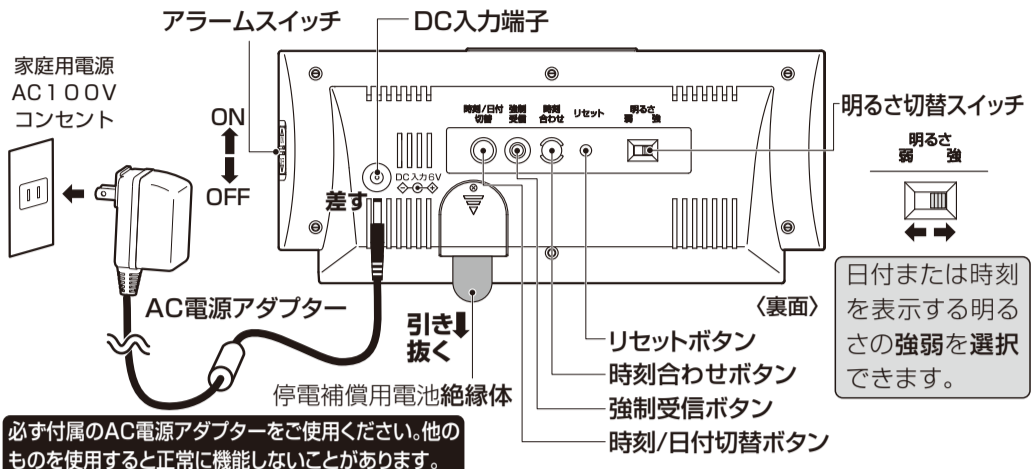
この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

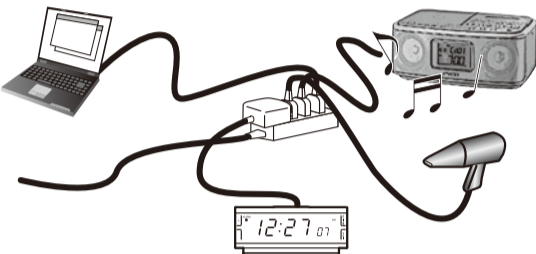
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



悪い接続例



家電製品やパソコンなどが接続された、テーブルタップにAC電源アダプターを接続するとノイズの影響を受け、受信に失敗することがあります。

接続するときのポイント

- 単独のコンセントに接続する。
- AC電源アダプター本体と時計を30cm以上離す。

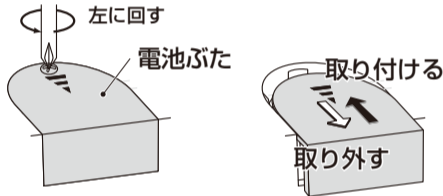
A 停電補償用電池……停電時の設定の保持、電池の交換について

停電などにより電力が得られないときは、停電補償用電池により、時刻を刻み続け、定期的に標準電波の受信を行います。電力が回復すると表示を再開します。

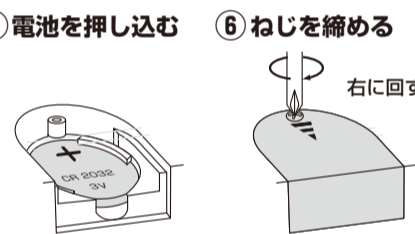
- 停電補償用の電池のみでは、時刻や日付を表示しません。また、アラームも鳴りません。
- 電力が回復したときに時刻や日付が正常に回復しないときは未使用の新しい電池に交換してください。

電池の交換手順

- ①ねじを取り外す
- ②電池ふたを取り外す
- ③電池を取り出す
- ④電池の+表示を上にして、斜めに入れる
- ⑤電池を押し込む
- ⑥ねじを締める

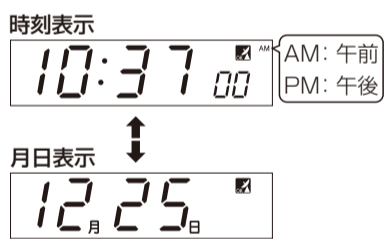


コイン電池 CR2032



- ねじの大きさに適したドライバーを使用してください。
- 電池は人差し指で押さえながら取り出してください。電池を押さえないと、電池が飛び出し、目などに当たる危険性があります。
- 金属製のピンセットやドライバーなどを使用すると、ショートや電池に傷を付ける危険性があります。

B 時刻/日付表示の切り替え



常時切り替え
時計裏面の時刻/日付切替ボタンを押すと、時刻→日付または日付→時刻に切り替わります。

一時切り替え
時計正面のカレンダー/時刻ボタンを押すと、約5秒間時刻→日付または日付→時刻に切り替わります。

- 表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。

C 電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、なるべく時計の正面または裏面が電波送信所に向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

■手動での時刻の合わせ方

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - +または-ボタンを押して数値を合わせます。
 - +または-ボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

※ 電波受信機能のON/OFF操作

- ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。

操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる

- ①時刻合わせボタンを西暦年の末尾2桁が点滅するまで約2秒間押しつづける。
- ②「年」を+または-ボタンで「18」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。
- ③「月」を+または-ボタンで「12」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。
- ④「日」を+または-ボタンで「25」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。
- ⑤「時」を+または-ボタンで「10」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。
- ⑥「分」を+または-ボタンで「37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

D 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)

- リセットボタンを約1秒間隔で3回押ししてください。
- 「ピ」と鳴ったらすぐに押ししてください。
- 受信機能がOFFになると「ピ」と鳴りません。
- 年月日と時刻は手動で合わせてください。

○工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効(ON)になっています。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

○AC電源アダプターを取り外しても、停電補償用電池により設定は保持されます。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する)

- ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後- ボタンを離してください。
- 定期的に受信して標準時刻に合わせます。

1 電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**電波を受信できない場合**の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

受信しやすい窓際などに置いてください。

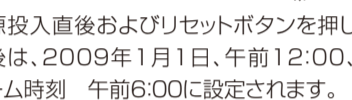
- ① 停電補償用電池の絶縁体を引き抜く
 - ② AC電源アダプターを接続する
AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計裏面のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。
 - ③ リセットボタンを押す
「ピ」と鳴って、「受信中」が点灯して受信を開始します。
※時計を使い始めるときは、必ずリセットボタンを押してください。
 - ④ 受信開始から20分後に受信結果を確認する
受信は最长で20分程度行います。【受信の流れと表示】参照
受信マーク 点灯:受信成功、消灯:受信失敗→ **電波を受信できない場合** 参照
- 受信中はボタンにふれないでください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信を中止します。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



受信の状態表示

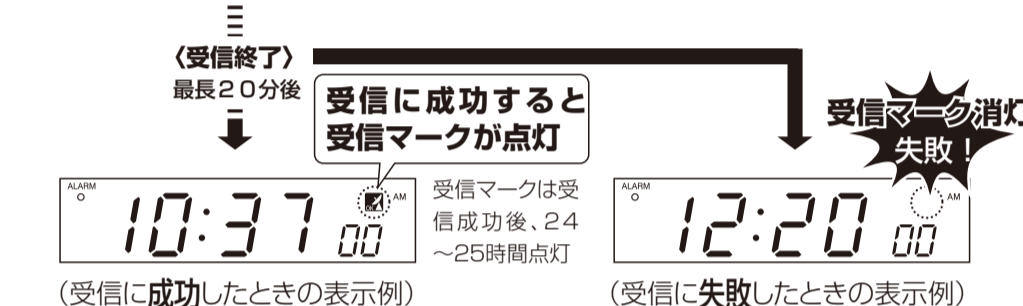
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい



チェック!
1~2分経過後も①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2009年1月1日、午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。



※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

※受信に失敗した場合は、表示されている日付/時刻は正しくありません。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方

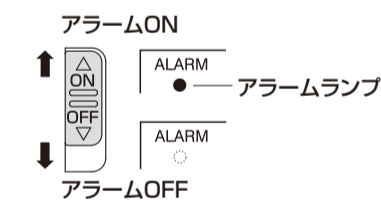
〈操作例〉

午前6時20分に合わせる



- ①+または-ボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- ②アラーム時刻を合わせる
+または-ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
- ③約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

アラームのON/OFF設定



- アラームスイッチ ON : 設定時刻にアラームが鳴る
- アラームランプ点灯
 - アラーム時刻を4~5秒間点滅表示。
- アラームスイッチ OFF : アラームを止める、鳴らさない
- アラームランプ消灯

アラーム時刻は、常時表示されません。アラーム時刻を確認するときは、アラームスイッチをOFFからONにするか、+または-ボタンを押してすぐ離してください。4~5秒間アラーム時刻を点滅表示します。

アラームオートストップ機能……アラーム音の自動停止

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴りつづけて終了します。

スヌーズ機能……止めてもまた鳴る

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームランプが点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームランプは点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、毎日アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。使わないときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

アラーム音の確認方法

時計正面のモニターボタンを押すと、アラームが約2分間鳴ります。途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。

- 「受信中」が点灯しているときは、モニターボタンを押しても機能しません。

E 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

- 場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。
- 受信機能が無効のときは、機能しません。
 - 手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。
 - アラームが鳴っているときやスヌーズ中は機能しません。

リセットボタン

- 時計を使い始めるときや静電気などにより誤作動したときに押します。
- リセット直後は、2009年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。
- 受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。